



「土木構造物設計マニュアル(案) - 樋門編 - 」及び「土木構造物設計マニュアル(案)に係わる設計・施工の手引き(案) [樋門編] 」について(通知)(その3)

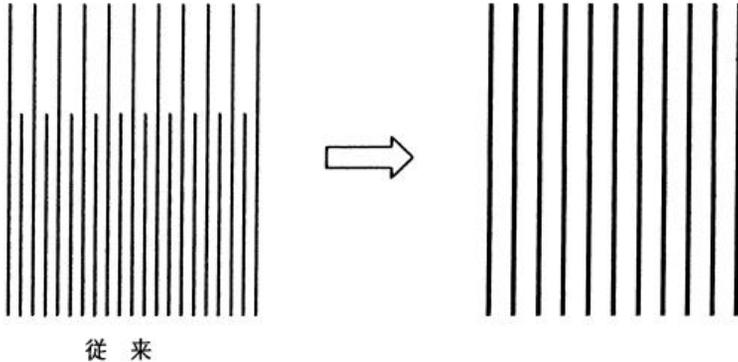
技術基準の種類: 設計・施工
通知日: 平成14年2月6日

POINT 8

たて壁主鉄筋の断面変化の廃止

対象部位: 翼壁

鉄筋加工および組立の省力化を図るため、翼壁のたて壁における主鉄筋の断面変化は行わないものとする。

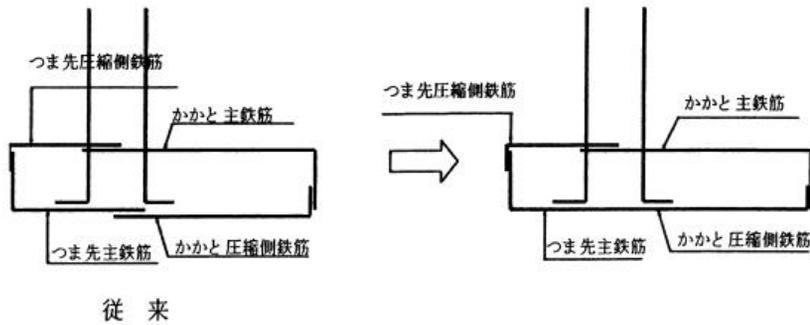


POINT 9

底板の配筋

対象部位: 翼壁(逆T形タイプ)

つま先版主鉄筋とかかと版圧縮鉄筋は、鉄筋の加工・組立の省力化を目的として1本物の鉄筋とする。



2.2.2 施工

一般に、場所打ちコンクリート方式による樋門の各部位の施工手順は、図-2.6に示すような流れで進められる。これらの作業項目のうち、設計マニュアル(案)において設計・施工合理化策に係わる規定を設けている項について、その具体的な方策を併記した。

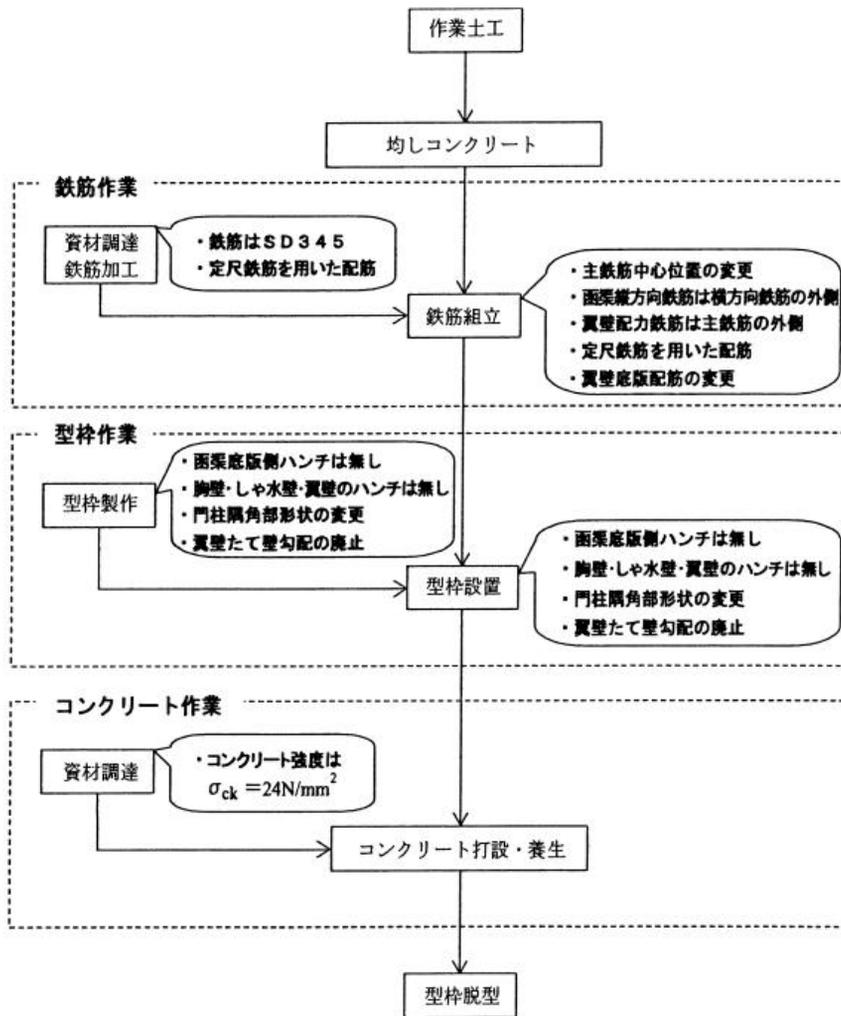
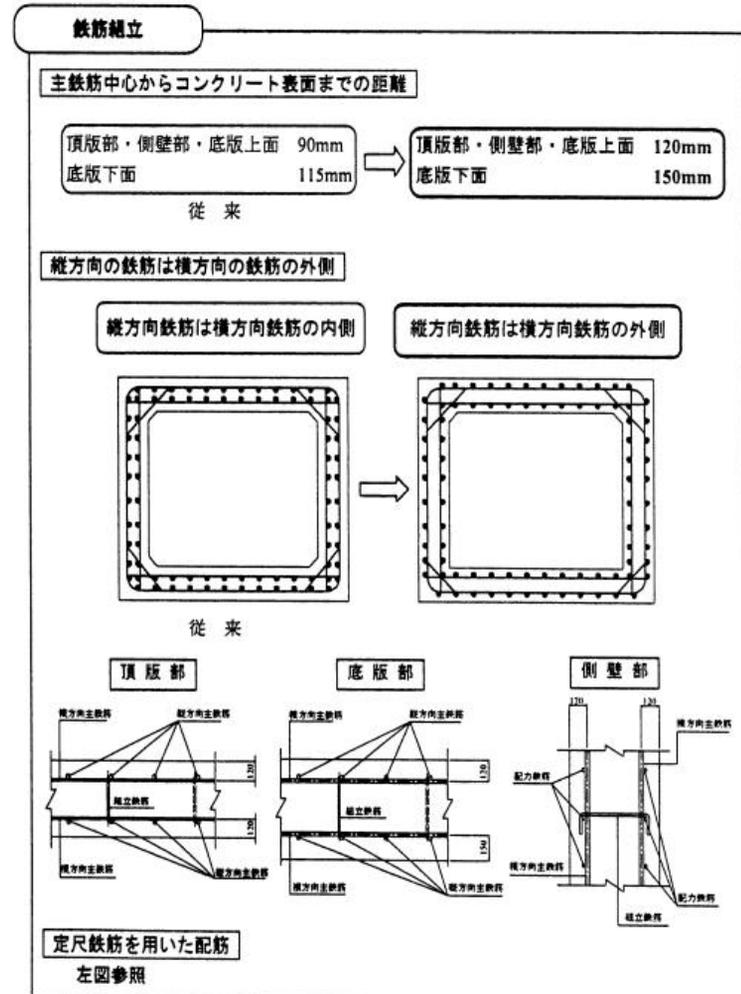
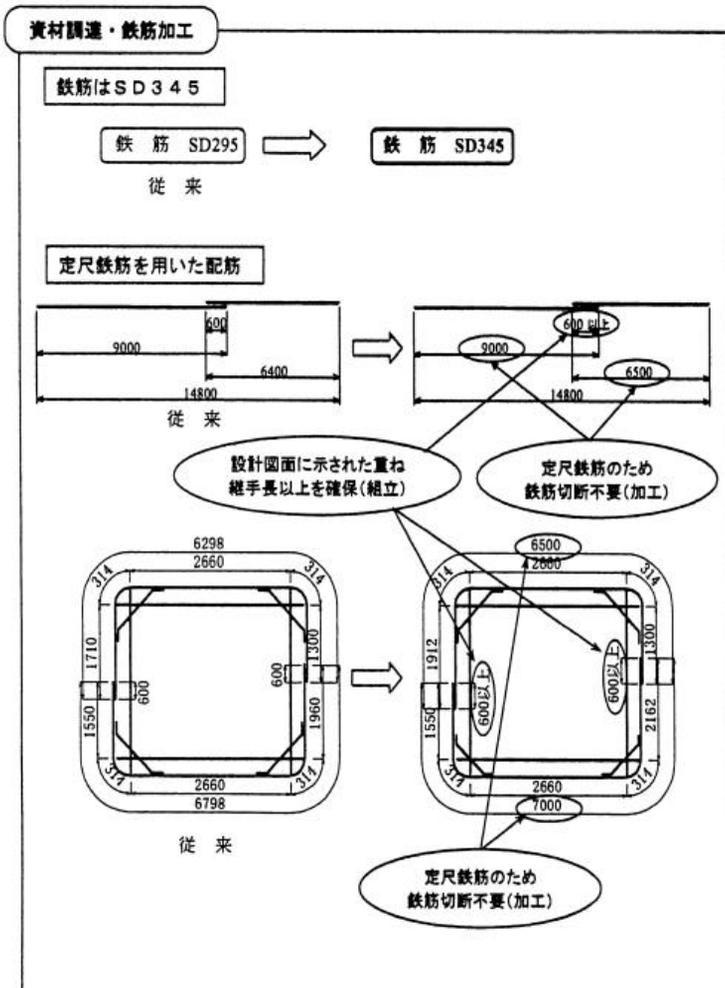


図-2.6 樋門の各部位の施工フローチャート

函渠の鉄筋作業のPOINT



胸壁・しゃ水壁の鉄筋作業のPOINT

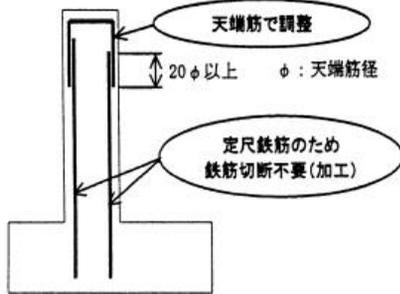
資材調達・鉄筋加工

鉄筋はSD345

鉄筋 SD295
従来

鉄筋 SD345

定尺鉄筋を用いた配筋



鉄筋組立

主鉄筋中心からコンクリート表面までの距離

たて壁部・底板上面 90mm
底板下面 115mm
従来

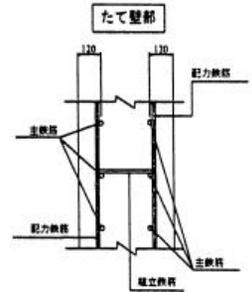
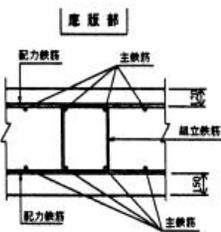
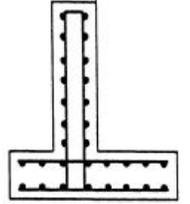
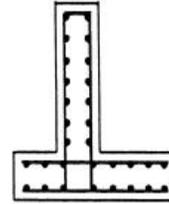
たて壁部・底板上面 120mm
底板下面 150mm

従来

たて壁の配力鉄筋は、施工の容易な位置に配置

たて壁の配力鉄筋が外側

たて壁の配力鉄筋が内側



定尺鉄筋を用いた配筋

左図参照

門柱・操作台の鉄筋作業のPOINT

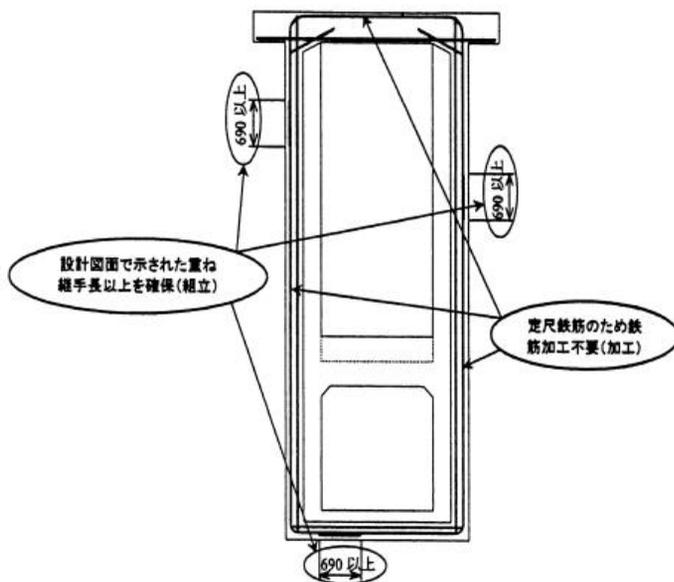
資材調達・鉄筋加工

鉄筋はSD345

鉄筋 SD295
従来

鉄筋 SD345

定尺鉄筋を用いた配筋



鉄筋組立

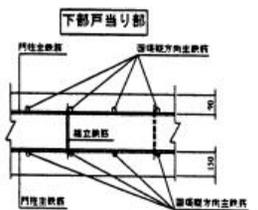
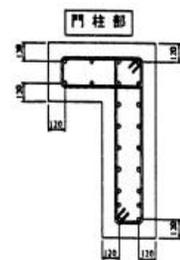
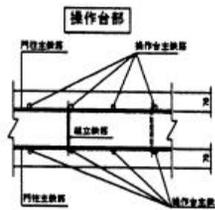
主鉄筋中心からコンクリート表面までの距離

柱 90mm
操作台 65mm
従来

柱 120mm
操作台 70mm

従来

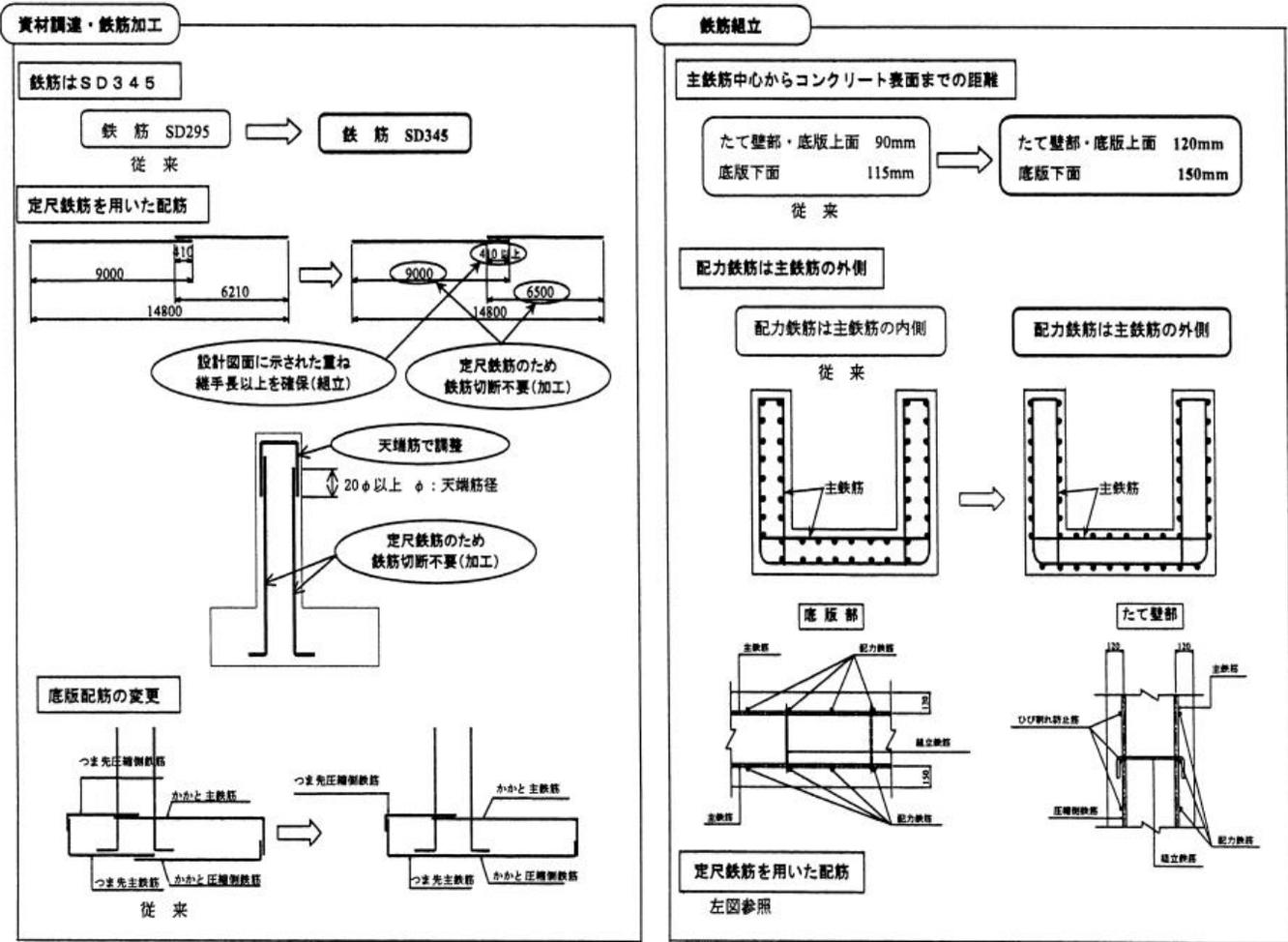
門柱の帯鉄筋は、D13@150mmで設置する



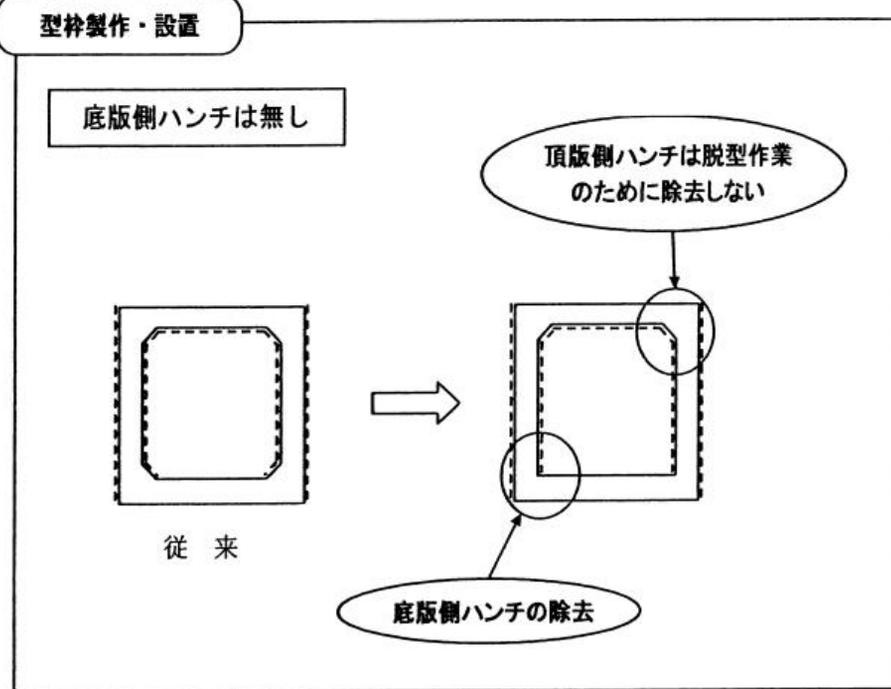
定尺鉄筋を用いた配筋

左図参照

翼壁の鉄筋作業のPOINT



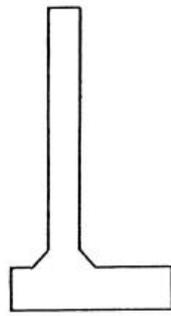
函渠の型枠作業のPOINT



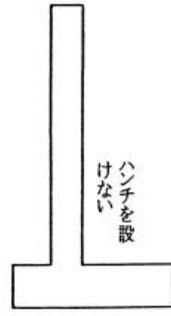
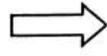
胸壁・しゃ水壁の型枠作業のPOINT

型枠製作・設置

ハンチは無し



従来の形状



単純化した形状

ハンチを設
けない